

「2004年版 社会環境報告書」を発行

社会との関わりからみた企業活動状況報告を充実させ、タイトルを改めました

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:上條清文)では、「2004年版 社会環境報告書」を発行しました。昨年までは「環境報告書」として発行してきましたが、2004年度版は、環境への取り組みに関する情報に加え、社会との関わりからみた企業活動状況に関する情報を充実させ、「社会環境報告書」にタイトルを改めました。11月には日本語版に続いて英語版も発行する予定です。

今回の報告書では、環境面および社会面における当社の具体的な企業活動について、鉄軌道事業、不動産事業、その他事業の三つの事業分野に大別して紹介しています。環境面については地球環境問題を意識し、地球温暖化防止や循環型社会といったテーマごとに、環境への具体的な取り組みを紹介しています。また社会面については、各事業分野における活動紹介に加え、社会との関わりを紹介する「コミュニケーション」という章を新たに設け、当社のステークホルダーである、お客さま、行政機関、従業員とのさまざまなコミュニケーション活動について紹介しています。このほか今回の報告書から、従来掲載している東京急行電鉄の環境負荷データに加え、東急グループとしての環境負荷データ(エネルギー起源におけるCO₂の排出量(推計値))も初めて掲載しています。

「2004年版 社会環境報告書」の概要は次のとおりです。

「2004年版 社会環境報告書」の概要

サイズ A4判 48ページ

主な内容

- ・ハイライト(東横線とみなとみらい線相互直通運転開始、多摩川浄化活動のトピックス)
- ・社会的責任に関する東急の理念
- ・コーポレートガバナンスとコンプライアンス(環境関連法規制への対応など)
- ・環境方針
- ・東京急行エコアップ プログラム(数値目標を掲げての環境保全活動への取り組み)
- ・全社の環境目的・目標と実績
- ・環境会計
- ・各事業(鉄軌道事業、不動産事業、その他事業)における具体的な取り組み
- ・コミュニケーション(お客さま、行政機関、従業員とのコミュニケーション)
- ・当社の環境負荷データ(2000年度～2003年度)
- ・東急グループの環境活動、環境負荷データ
- ・自己審査意見報告書

以上